



# TEAM NEXT YONEZAWA

## 米沢産ハイスピードカメラで 世界一を目指す

硬いゴルフボールがクラブに打たれた瞬間、柔らかく形を変えるスローモーション映像。肉眼では見ることのできない、一瞬の現象を可視化するハイスピードカメラを生産しているのが(株)フォトロン米沢工場です。平成3年、同社ハイスピードカメラの製造・修理の一括生産拠点として開設して以来、多くの製品を出荷してきました。今回は(株)フォトロン米沢工場の樋口さんと浦田さんにお話を伺いました。

米沢で生産されるハイスピードカメラはどのように使われているのでしょうか。樋口さんはその導入事例を話します。「自動車の衝突実験やインクジェットプリンターの塗出撮影など、主に高速現象を記録する工業計測装置として利用されています。また、スポーツ分野でも使われることが多く、北京五輪の水泳競技でマイケル・フェルプス選手がタッチする瞬間を捉えたのも米沢工場で作られたカメラでした」。

様々な分野で使用される米沢産ハイスピードカメラは、国内のみならず、海外へも出荷されています。従来のヨーロッパ、北アメリカとの取引に加えて、近年では中華圏での需要も増えているそうです。活躍の場を世界へ広げている状況を前に、浦田さんは「東京五輪でも私たちのカメラが使用されるかもしれません。まずは瞬間を切り取った映像に注目していただき、世界品質の製品が地元で作られていることを市民の皆さんに知って欲しいです」と語ります。

最後に、TNYの一員としての意気込みを樋口さんに伺いました。「米沢に根付くものづくりの精神を育てていくと同時に、異業種の方との交流も積極的に図っていきたいです。そして、競争の激しい業界ではありますが、世界トップのハイスピードカメラメーカーを米沢から目指していきます」。

## 世界トップクラスのハイスピードカメラを製造する 株式会社フォトロン (八幡原)

昭和43年設立。(株)フォトロン製ハイスピードカメラの生産拠点である米沢工場は平成3年に開設。製造部担当部長の樋口徹さん(写真右)、部長補佐兼業務支援グループ長の浦田努さん(写真左)を含む24人で製品の製造と修理を行っている。



クラブとゴルフボールが当たる瞬間



### 「米沢品質向上運動」とは

本市では、挑戦と創造のあかし「米沢品質」をスローガンに掲げ、産品だけでなくサービス・観光・文化・行政など、様々な領域の「挑戦と創造」を喚起し、付加価値を高めていくことを目的に「米沢品質向上運動」を展開しています。本市のブランディングに賛同し、この運動に参加するプレイヤーが「TEAM NEXT YONEZAWA (TNY)」です。(4月14日現在、107の企業・団体・個人が登録)

